

令和3年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人ヒラタ学園大阪航空専門学校では、平成27年度から教育活動について、実施状況を総合的かつ客観的に把握することにより、問題点を明らかにするとともに、PLAN、DO、CHECK、ACTIONというサイクルを実効的なものとするため、本年度も「学校自己評価」を実施いたしました。

また、自ら行った「学校自己評価」について、学生の業界団体、企業関係者、学校関係者及び教職員から成る「学校関係者評価委員会」（令和4年8月23日、1名はオンライン）において評価を実施いたしました。

本委員会では、貴重なご意見やご指導をいただき感謝申し上げますとともに、学校関係者評価につきましては、今後の学校運営の改善、教育の質の向上等に反映させ、教育活動の充実・強化に取り組んで参ります。

令和4年8月23日

学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校

校長・学校関係者評価委員長

飛弾 清彦

学校関係者による評価について

1. 学校関係者評価委員

委員氏名	所 属	備 考
久野 嘉一	日本航空技術協会 総務部長	業界団体 関係者
柴谷 国光	(株) Kグランドサービス 総務人事部長	業界企業 関係者
池川 博幸	サンコー・エア・セルテック(株) 人事部長	業界企業 関係者
岡留 清一	CKTS (株) 管理部副部長	業界企業 関係者
桑原 利朗	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン (株) 総務人事部 主席 ※ オンライン参加	業界企業 関係者
平田 光弘	学校法人ヒラタ学園 航空事業本部長	学生関係者
小倉 保徳	美采屋 総括マネージャー (学生食堂)	学生関係者

2. 学内評価委員

飛弾 清彦 (委員長)	大阪航空専門学校長	学内関係者
真田 佳典	学校法人ヒラタ学園 総務課長	学内関係者
今村 和江	学校法人ヒラタ学園 キャリアサポート課長	学内関係者

3. 実施要領

学校関係者評価委員会は、「学校自己評価報告書」に対する再評価をお願いするものである旨をお知らせするとともに、事前に学校関係者評価委員の皆様へ「学校自己評価報告書」を送付したうえで、開催することになりました。

4. 評価結果の公表

学校関係者評価委員会でいただいた評価は、「学校関係者評価報告書」として取りまとめ、今後の学校運営の改善、教育活動の向上に活かすとともに、インターネット・ホームページ等で公表します。

5. 評価項目毎の学校関係者評価

評価項目に対する学校関係者の評価、ご意見等について報告します。

評価は、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切として記載します。

5.1 教育理念・目標 評価 3.8 (ほぼ適切)

○ ④の「理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか」は評価「3」ですが、「4」ではない理由はなんですか。

・学校の将来については、コロナ禍とコロナ禍後の社会及び少子化による教育市場の縮小という時代に、学校として勝ち残っていくための進むべき方向を示すため、中期計画として五ヶ年計画を作成しましたが、その将来構想が十分に生徒・保護者等に周知されていないところがありますので、「3」としました。

○ その他に関しては、特に意見等はありません。

5.2 学校運営 評価 4.0 (適切)

○ ⑥の「業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか」は評価が昨年より良くなって「4」となった理由はなんですか。

・コンプライアンス体制については、教職員コンプライアンス・マニュアル及びセルフ・チェックリスト(含む外国人講師用の英語版)が昨年と比較して適切に整備、処置しているので、「4」としました。

○ その他に関しては、特に意見等はありません。

5.3 教育活動 評価 3.8 (ほぼ適切)

○ ⑫の「関連分野における先端的な知識・技能等の修得や指導力の育成など、教員の資質向上のために研修等の取組が行われているか」及び⑬の「職員の能力開発の為に研修は行われているか」が評価「3」となっているのはどうしてですか。

・就職先企業の社員からの直接技術指導を受けるなどの技量向上施策は、コロナ禍のため実施できませんでした。学校全体の教職員研修も、コロナ禍のため十分に実施できませんでしたが、3月に日本赤十字社及びエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンから講師を招き、「命の大切さ」及び「ヒューマンエラーの防止」という内容の研修を対面で実施しました。しかし、十分に実施できたとは言えませんので、評価「3」としました。各学科においては、オンラインを活用した講習等を受講していただきましたので、今後は、オン

ラインを活用した教員研修の実施を取り入れていくようにしていきます。

- ・⑪⑫の「各学科の教員は、教育分野に関する豊富な経験と知識、技能を有している」に関しては、11月に教員1名が大阪府の「令和3年度教育文化週間私学教育功労者表彰」を受賞、1月には教員2名が永年の航空機整備・教育に係る功労で大阪航空局長表彰を受賞しました。

- 「2年間で基礎学力20%向上を図るため、各学科にClassiを導入した。併せて、英語力向上のため3学科共通のクラス分けによる英語教育を実施することとした。」ということですが、現時点で「何%、どの程度向上したか」を掴んでおくようにしてください。
- その他に関しては、特に意見等ありません。

5.4 学修成果 評価 3.8 (ほぼ適切)

- ③の「退学率の低減が図られているか」は評価「3」となっているのは、どうしてですか。
 - ・入学時に進路変更が理由で退学する者については、入学前のオープンキャンパス及び入学後の面談等で、仕事の内容・求められる人物像・業界の現状等を丁寧に説明していますが、コロナ禍に伴う航空業界の不況により採用が止まっている等の理由で退学する者には、より一層、業界の現状を丁寧に説明する必要があり、やや不十分であったと思われましたので、「3」としました。
- 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握する一環として、離職率の調査を検討してみてもどうでしょうか。
- その他に関しては、特に意見等ありません。

5.5 学生支援 評価 3.8 (ほぼ適切)

- ⑧の「卒業生への支援体制はあるか」は、評価「3」になっていますが、どのような支援体制をつくれば「4」になるのですか。
 - ・卒業生への支援は、特段の体制を設けている訳ではなく、また総務課とキャリアサポート課職員が適宜に対応しており、現状において大きな問題点は見当たらないのですが、支援体制としては、「同期生会や卒業生会」などの組織を作っていれば「4」になるのではないかと思います。
- その他に関しては、特に意見等ありません。

5.6 教育環境 評価 4.0 (適切)

- ④の「防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか」については、コロナ禍のため教職員のみ参加による消防訓練及び防災訓練を実施しましたが、従来通り学生が参加できる訓練を工夫して実施していく必要があります。
- 特に意見等ありません。

5.7 学生の受け入れ募集 評価 3.7 (適切)

- ①の「学生募集活動は、適正に行われているか」は、評価「3」となっているのはなぜですか？

- ・大阪府専修学校・各種学校連合会 高等学校進路指導協議会との協定の中で、遵守事項（願書受付時期等）に従って、適切な学生募集活動を行っていますが、コロナ禍のため思ような広報活動ができなかったことから、評価「3」としました。

- ・学生募集は、少子化、コロナ禍及び航空業界の不況の影響を受け、かなり厳しくなっており入学生数が減少してきています。
このため、インターネット利用による SNS 等の媒体を活用した新たな学生募集のやり方に重点をおいていく必要があります。

- その他に関しては、特にありません。

5.8 財務 評価 4.0 (適切)

- 特に意見等ありません。

5.9 法令等の遵守 評価 4.0 (適切)

- 「学校自己評価」及び「学校関係者評価」は、ホームページ上で公開されています。

- その他に関しては、特に意見ありません。

5.10 社会貢献・地域貢献 評価 3.7 (ほぼ適切)

- ①の「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」は、評価「3」となっているのはどうしてですか。

- ・学校の施設・設備を利用して、中学生、高校生の校外授業を受入れ体験授業などを実施し、また、資格試験等の会場として活用されていましたが、コロナ禍の影響で実施できなかったため、評価「3」としました。

なお、地域貢献及びボラティアの一環として、通学路の清掃及び献血活動への協力をしていきます。

- その他に関しては、特に意見等ありません。

6. 総括意見

新型コロナウイルス感染症の拡大により航空業界は大打撃を受けましたが、本年度末に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除されて以降は、ウィズ・コロナの段階に入っていくものと思慮され、国としても経済活動と感染防止の両立を図っていくとの方針を示していることから、航空業界は回復に向けての明るい兆しが見えてきています。

現に、旅客機の国内線運航は徐々に回復してきており、国際線の旅客便はコロナ感染防止の水際対策のため回復が遅れていますが、貨物便の運航は活発であり急速な回復が見られます。

このため、航空業界等からの求人は活発になってきており、ほぼコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、世間一般では「航空業界は不況」との影響が残ったままで、入学生の減少という学生募集に顕著な影響が出ています。

このことから「航空業界は回復に向かっており、求人はコロナ禍前の状態に戻りつつあること」、そして「航空業界の仕事は魅力があること」を各種媒体を使って声高に訴え、航空業界を目指す若者の確保に努めていかなければなりません。

以上

学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校
〒593-8326 大阪府堺市西区鳳西町3丁7-12番地